

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/higasitakane/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (S53.4.25)		
指定管理者名	東高根森林公園パートナーズ		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>・利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はAで、3項目評価はSとなった。昨年度と比較して、収支状況の評価が向上したことによる評価である。</p> <p>・公園資源の積極的な活用が図られており、利用状況及び利用者の満足度も最高評価となっている。収支についても新型コロナウイルス感染症の影響により5月の駐車場収入が0円となったが、運営努力等により、プラス収支となっており、A評価となっている。今後、風致公園として管理と保全のバランスを考えた植物管理の実施ならびに史跡と天然記念物の価値を活用した利用促進を積極的に企画するなどの取り組みに期待したい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案に基づいて年間120回以上のイベントを計画していたが新型コロナウイルス感染症対策の影響で実施は15回となった。新型コロナウイルス感染症対策のためイベントの実施が難しい中、感染対策を講じたうえで開催することで、公園利用者の満足度を向上させる取り組みをしていることは評価できる。 <p>◆利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場閉鎖により5月の利用者は減少している。その後は感染症対策の徹底やマスク着用お願いの放送等に努めて安全な利用を心掛け、利用状況は対前年度比105.1%となった。また、開園以来初めて40万人を超える来園者を記録し、目標達成率は116.7%となり、S評価となった。 <p>◆利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による接客研修を全員受講するなどサービス向上に努めたことから、県が実施している利用者満足度調査では上位2段階の回答割合が96.3%となり昨年度(95.5%)より上昇しており、S評価となった。 <p>◆収支状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者増加に伴い駐車場収入、自販機収入がプラスとなり、収入合計/支出合計の比率が100.46%となったためA評価となった。 <p>◆苦情・要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切に美化管理されていた。隣接者からの伐採の要望があったが、迅速に対応し、特に大きな苦情はなかった。 <p>◆事故・不祥事等</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理作業中の事故により、公園設備(擬木柵)を破損する事故が発生したが、迅速な仮復旧と再発防止対策会議を実施し、再発防止に努めた。 <p>◆労働環境の確保に係る取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 以上を総合的に勘案し、令和2年度の3項目評価についてはS評価とした。 	
3項目評価	<p>S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無し	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	毎月1～2回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多種多様な生物の有する豊かな生態系の保全・育成を行う。	湿生植物園のヘドロの浚渫やシラカシ林内の下草刈りを実施するなどし良好な環境を維持している。水流の多自然化を施工して、よりよい自然環境を創出している。	芝生管理についてよりよい管理（施肥や育成保護）に努め、裸地化範囲を回復することが望まれる。
公園の魅力(歴史・文化・自然)を教材とした学習の機会を創出する。	新型コロナウイルス感染症対策のため、歴史・文化体験型イベントの実施は0回、自然体験型についても、人気である田んぼの学校をはじめほとんどのイベントが中止となっている。ただ、スタンプめぐりについては、4、8～11、3月の土日に実施している。	新型コロナウイルス感染症対策のためイベントの実施が難しい中、感染リスクの少ないイベントについて開催して、公園利用者の満足度を向上させる取り組みをしていることは評価できる。
専門技術や知識を持つ方々と連携し、学習内容やプログラムを充実する。	外部講師やアマチュア団体等と連携した利用促進は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から事前予約により人数制限を行ったうえで、2回実施している。	新型コロナウイルス感染症対策のためイベントの実施が難しい中、感染対策を講じたうえで開催することで、公園利用者の満足度を向上させる取り組みをしていることは評価できる。
地域に活動情報を計画的に提供するほか、地域活動に積極的に参加する。	小中学校の総合学習やインターシップ、防災訓練や高齢者福祉施設との積極的な連携については、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。収穫感謝祭は、待機列の間隔をとるための白線引きや、マスク、フェイスシールドの着用、道具の消毒を徹底して開催した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
有料駐車場事業による利便性の向上、安全確保、緑化協力金の徴収を行う。	提案どおり実施している。
既存自動販売機の継続設置。	6台を継続。提案どおり実施している。
イベントでのオリジナルグッズの販売	イベント時にオリジナルフォトスタンドの販売などを実施している。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	390,108	388,670	408,417
対前年度比		99.6%	105.1%
目標値	350,000	350,000	350,000
目標達成率	111.5%	111.0%	116.7%

目標値の設定根拠：

提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）：

駐車台数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 —
②令和2年度の対応状況 —

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント1回の計7回調査の結果を使用する。指定管理者による接客研修を全員で受講する、接客検定の取得などを通じて、サービス向上を意識しているのが見受けられる。前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 137 / 143 = 95.8%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	87	45	1	4	0	137	
回答率	63.5%	32.8%	0.7%	2.9%	0.0%		
前年度の回答数	81	45	0	4	2	132	
前年度回答率	61.4%	34.1%		3.0%	1.5%		
回答率の対前年度比	103.5%	96.4%		96.4%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 <p style="text-align: center;">—</p>
②令和2年度の対応状況 <p style="text-align: center;">—</p>

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	46,169	0	9,160	駐車場6,291 自販機2,869	55,329	55,329	0	
	決算	46,169	0	8,403	駐車場5,800 自販機2,603	54,572	54,690	-118	99.78%
前年度	当初予算	47,024	0	8,497	駐車場6,078 自販機2,419	55,521	55,521	0	
	決算	47,024	0	7,954	駐車場5,504 自販機2,450	54,978	55,056	-78	99.86%
令和2年度	当初予算	49,586	0	8,497	駐車場6,078 自販機2,419	58,083	58,083	0	
	決算	50,315	0	10,016	駐車場6,708 自販機3,308	60,331	60,052	279	100.46%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和2年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応として、県との協議により令和2年度の指定管理料を増額した。

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響

—

②令和2年度の対応状況

—

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況	
施設・設備	電話 メール	7 件	公園隣接者より越境枝剪定と伐採の要望	現地確認の上、必要範囲の剪定と、伐採を実施。
	メール	0 件		
	電話	2 件	公園隣接者より前向き駐車の徹底の要望	前向き駐車をしていない車にチラシを置く、前向き駐車のお願看板を10箇所以上設置。
職員対応		0 件		
事業内容	口頭	1 件	湿生植物園の水田に田植えがされていない。教育の意味もあるのだから、早く実施すべき。	新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度は中止した旨を伝える看板を設置。
	口頭	1 件	パークセンター前のパラソルベンチで喫煙している人への対応。	禁煙ではないため、周りに留意して喫煙する旨の看板を机に設置。
その他	アンケート	3 件	利用者への意見、地域猫への意見等	声かけ等での対応
	口頭等	10 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
11月29日	①花木広場見晴台にて焚火跡が確認された。また藤棚のパイプが破損。 ②12月3日に現地確認。石張り舗装の上で焚火をした後、雨によりほとんど焼け跡は残っていない。けが人等はなし。 ③宮前警察による巡回をお願いして再発防止に努める。 ④なし ⑤なし ⑥なし
1月15日	①委託業者が枯損木伐倒中、牽引具を結んでいた枝の先端部が折れて落下。コンクリ擬木柵にあたって、柵の一部が破損した。 ②1月18日に写真にて確認。擬木柵の上側のみ柵が破損。下側は残っており柵としての機能はあり。上部にロープを設置し復旧している。 ③再発防止対策会議を実施。周辺建造物の養生の徹底、牽引方向に建造物を避けること。後日製品を購入し、復旧した。 ④なし ⑤なし ⑥なし
3月19日	①小学生の火遊びによりシラカシ林内で小火が発生した。近くで作業していた工事業者により初期消火が実施された。その後、消防により消火確認。10㎡程度が燃えた。 ②3月19日に写真確認、24日に現地確認。シラカシ林床の落ち葉や下草の一部が焼失しているが、シラカシの木への被害はなし。 ③公園管理者の巡回を徹底、火気厳禁の看板を設置検討。 ④なし ⑤なし ⑥なし

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したもので、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。